

本時の目標

◎江戸時代に江戸や大阪が果たした役割を理解するとともに、全国を結ぶ交通網・流通網が成立したことに気づく。

資料集の提示資料	発問例と予想される反応例(▶は教師の説明)	留意点など
導入 越後屋呉服店	T 柱に何て書いてあるのか、読んでみましょう。 S 現金かけね(祢)なし(現金掛け値なし)。 S 現金で売るとのことですか？／どういうこと？ T 現金で売るとわざわざ書いているのはなぜ？ S 他の店は現金が使えなかったということ？ T どんな売り方があるのかな？ S クレジットカード？／つけ。 ▶当時の着物の売り方を教える。 T 掛け値って何だと思う？ S 後払いの利息。 T 「掛け値なし」の越後屋は普通より安い？高いの？ S 安い。 T ということは？ S 売れる。 ▶越後屋の新商法について解説する。 T 売るといけれど、誰に？武士？ S お金のある町人かな。 T みなさんは、値札のついている商品と、ついていない商品のどちらを買いますか？ S 値札のついている方が安いもの。	①(写真) 越後屋呉服店の全体 ◆ゆっくり一字一字丁寧に読ませる。 ◆越後屋は三井の越後屋で、現在の三越にあたることを伝える。 ◆正答にはこだわらず、発言を促す。 ★話し合いポイント 越後屋が繁盛した理由について話しあわせてもよい。 ◆値札のついていない商品、商品の信用に不安があることを説明する。 ◆地図上の場所を示す。 ◆金座や銀座以外の施設についても、現在の地図と比較させてもよい。
1A 江戸	T 江戸は知っていますか？金座は江戸にあったのでしょうか？ S …。 T 金座は日本の元金庫のようなところだよ。 S …。	◆現在も伝統産業は京都が有名であるが、製作には差別されていた人々が関わっていた場合もあるので、取り扱いには十分配慮する。 ◆地理的に標高の1番高い駅は、普通鉄道ではJR東日本小海線の野辺山駅(長野県)。 ◆品質の問題ではなかったことをふまえる。
コラム 「くだらないもの」 1B 京都	T 「くだらない物」ってどんなものか、わかりますか？ S つまらないもの。／価値のないもの。 T 実はある場所で作られたものが、そのよび名をもらいました。どこでしょう？ S …。 T 当時、品質の高いものはどこで作られていたのでしょうか？ S 京都や大阪かな？ T なぜそう思ったの？ S 京都は昔の都だったし、大阪は商業が盛んだったから。 T 京都は江戸時代も都ですよ。 S そうか、天皇が住んでいるところが都だからですね。 T (急に話を変えて)日本で1番高い駅は？トンチ問題です。 S わかった。東京駅。東京駅発の電車は全部下りだから。 T そうですね。都の京都や大阪から江戸に来たものは「下り物」とよばれました。それ以外はどこから来たものでしょう？ S 江戸の近くからだ。 ▶江戸周辺のものが「下らない物」とよばれたことを伝える。	◆この絵は、綿を大阪から浦賀まで運び菱垣廻船の競争をえがいたもの。 ◆蔵屋敷の運営について説明する。
1C 大阪	T (「菱垣新綿番船川口出帆之図」を見て)奥の方の船と真ん中辺りの船の大きさを比べてみましょう。 S 奥の方が大きい。 T つまり奥の方が海で、真ん中は運河の中を表しています。さて、なぜこのような状態になっているの？ S 大きな船は運河の中に入ってこられないから。 T 大きな船は小さな船に荷物の積みかえが必要でした。この絵の荷物は綿ですが、他にどんな荷物があると思う？ S 米。	

おわりに

ふり返る 「將軍のおひざもと」「天下の台所」とよばれた理由を理解できたか。
次へつなげる 経済や交通が発達するなか、幕府政治はどのように展開したのかを予想する。